

# 3 大井荘を訪ねてみよう

南アルプス市

富士川町

大井荘は南アルプス南部から富士川町にかけて広がっていたとみられる。甲斐源氏「加賀美遠光」の長男「光朝」は南アルプス市秋山に居を構え、「秋山」姓を名乗ったとされるが、光朝は大井荘を本拠地としていたと考えられている。大師東丹保遺跡がある大師地区などには「条理制の土地割り」が今も残されている。鎌倉時代になると加賀美氏・秋山氏は没落し、その後入部したのが橘姓大井氏であるが、富士川町の旧鯉沢地区にある蓮華寺はこの屋敷跡と考えられている。このほか、富士川町の増穂地区には、妙法寺をはじめ明王寺や昌福寺、最勝寺などの古刹が数多く残され信仰に彩られた地域でもある。

## 12 椿城跡

小笠原長清の孫で上野氏を名乗った盛長の築城とされ、後に武田氏の分流大井氏の城となったとされる。本丸跡に五輪塔や宝篋印塔が並ぶ。市指定文化財。

中野城跡

雨鳴城跡

北山城跡

秋山光朝館跡(熊野神社)

秋山氏廟所(光昌寺)

明王寺

跡部勝資屋敷跡(了泉寺)

常泉寺

阿弥陀寺

## 5 一条忠頼墓

明楽寺跡地には、源頼朝に謀殺された一条忠頼が祀られている。付近の宝林寺は忠頼の屋敷跡と伝わる。町指定文化財。



富士川町

最勝寺砦跡

昌福寺

最勝寺

大井氏館跡(蓮華寺)

妙法寺

## 9 仙洞田氏屋敷跡(妙楽寺)

南部氏出身の仙洞田氏の屋敷跡と伝わる。現在は妙楽寺となっている。